



■～妊娠糖尿病とは？～

妊娠糖尿病とは？

妊娠初期・中期の健診を受けられた方は、採血を行う際、『今日は血糖を計りますが、お食事はいつごろ取りましたか？』と聞かれたと思います。なぜ妊婦さんは血糖を計るのでしょ。血糖値が高いとどうなってしまうのでしょうか。

・血糖値とは

食事を取ってしばらくすると小腸から糖分が吸収され血糖が上がります。するとすい臓からインスリンというホルモンが分泌されます。インスリンは体内で唯一、血糖を下げる働きのあるホルモンです。妊娠するとこのインスリンの働きが弱まる(抵抗性が増す、とも言います)ことがあり、その結果、血糖が高くなる方がいるのです。



・では、血糖が高いとどんなことが起こるのでしょうか。

お母さんの血糖が高いと、様々な合併症がおきます。まず巨大児です。お腹の中で赤ちゃんが大きくなり過ぎ、体重が4000gを超えることもあります。そうすると難産になるのは想像に難くないと思います。分娩時の産道の裂傷も大きくなるでしょう。また普通の赤ちゃんは頭が一番大きいので頭が出れば身体は問題なく出ますが、妊娠糖尿病のお母さんから生まれる赤ちゃんは、身体に脂肪がたっぷりついており、頭は出たけど身体が出ない肩甲難産になる可能性も増します。最悪の場合、頭を子宮の中に押し戻し、あわてて帝王切開する、という恐ろしい状況にもなり得ます。その他、新生児に低血糖や呼吸障害が起こる可能性も高くなります。様々な理由により帝王切開になる確率が増えますし、妊娠高血圧症候群(詳細は[2011年10月のサン・シャイン](#)をご覧ください)となる確率も上がるといわれています。というわけで、妊娠中は血糖をコントロールすることが非常に重要なのです。なお、血糖の高い方の中には、妊娠してから血糖が高くなった人(妊娠糖尿病)のほか、妊娠前より血糖が高かった人(糖尿病が妊娠をきっかけに発覚した人)がいます。妊娠中の管理は基本的にはどちらも同じですが、糖尿病の方はさらに、流産、胎児奇形の確率が上がるといわれています。



・血糖値が高いといわれたら…

健診での血糖が高かった場合、糖負荷試験という詳細な検査を受けて頂きます。そこで基準となる値を超えた場合に、妊娠糖尿病と診断されます。診断された場合、まずは食事療法を行います。身長から計算された一日の摂取カロリーに基づき栄養師から栄養指導を受けて頂きます。場合によっては入院して食事療法を行う場合もあります。食事療法でも血糖コントロールが難しい場合、インスリンを注射するインスリン療法を行うこともあります。(この場合は内科のある総合病院に紹介されます。)

・妊娠糖尿病の方は糖尿病予備軍

妊娠糖尿病と診断された方は、将来、糖尿病を発症する可能性が高いといわれています。糖尿病は遺伝および環境要因が指摘されています。環境とは食事と運動です。定期的に内科受診をしつつ、バランスの取れた食事・運動をお願いいたします。



【参考文献】

産婦人科診療ガイドライン 産科編 2011
周産期医学 2011年Vol. 41

担当:産婦人科医師 布施 由紀子